

第18回モリコロパークバースデーカップ少年野球大会規程

1 試合時間及びイニング数について

- (1) 試合は、1時間20分又は6イニングとし、1時間20分を超えて次のイニングに入らない。それで勝敗が決まらない場合は、最終出場選手9名で抽選(じゃんけん)とする。
- (2) 決勝戦は1時間30分又は6イニングとし、1時間30分を超えて次のイニングに入らない。それで勝敗が決まらない場合は、タイブレークにて1死満塁の状態から4番打者からの攻撃により1イニング行う。それでも勝敗が決まらない場合は、最終出場選手9名で抽選(じゃんけん)とする。

2 コールドゲーム及び攻守の交代について

- (1) この大会は、コールドゲームは採用しない。
- (2) 1つのイニングで8点取った段階で、攻守の交代をする。ただし、決勝戦は適用しない。

3 審判について

- (1) 大会1日目(1回戦及び2回戦)は当該チームから各2名審判員を出し、1塁側ベンチチームが球審及び2塁審判、3塁側ベンチチームが1塁及び3塁審判を担当する。
- (2) 大会2日目(準決勝及び決勝)は当該チームから各1名審判員を出し、1塁側ベンチチームが2塁審判、3塁側ベンチチームが3塁審判を担当する。
球審及び1塁審判は、大会運営者が行う。
- (3) ストライクゾーンは、正規のゾーンより左右及び高低とも、概ねボール1個広げることとする。
- (4) ボークについては1回目を指導とし、2回目はその後の投球への影響がないよう配慮する。
(必ずしもボークをとる必要は無い。)

4 試合の中止等について

- (1) 当日の試合の中止については、午前7時に各チームへ連絡する。
- (2) 会場の使用が3日間に限定されているため、3日間とも雨天中止となった場合は、1回戦及び2回戦に限り、対戦チームで調整し試合を消化する。準決勝及び決勝戦は、後日日程調整する。

5 グラウンドの整備等について

- (1) 試合前のグラウンドづくりは、各グラウンドの第1試合の両チームが協力して行う。
- (2) 試合後のグラウンド整備は、試合を終えた両チームが協力して行う。
- (3) ベース一式、ラインカー及び石灰は各グラウンドに備えたものを使用する。

6 監督、コーチの服装及び選手について

- (1) ベンチに入る監督、コーチは、ユニホームを着用すること。
- (2) 選手は、背番号の付いたユニホームを着用すること。ユニホームが無い場合は、上着に背番号を付けること。(体験入部の場合でも、背番号を付ければ出場可能とする。)
- (3) 不慮の事故等で、すでに交代しベンチに控えた選手しかいない場合、相手チームの了解のもと再び出場することができるものとする。ただし、投手への起用は不可とする。
- (4) 選手は、両耳ガード付のヘルメットを打者及び走者の時には必ず着用すること。

- (5) 捕手は、プロテクター、ヘルメット等のキャッチャー防具を必ず着用すること。
- (6) 可能な限り選手はベンチ入りすること。また、監督及びコーチは3名、代表、マネージャー及びスコアラー3名までベンチ入りできる。原則として、それ以上のベンチ入りはできない。

7 投球について

- (1) 投手の変化球は認めないが、その場合、球審が投手を適切に指導する。
- (2) 投手の投球練習は、初回が7球、以降3球、途中交代時は5球とする。

8 投球制限について

- (1) 投手の投球回数制限は、1日につき6回までとする。
- (2) 勝ち進んだ場合は、2試合を通して合計6回までとする。

9 シートノックについて

試合開始前のシートノックは両チーム調整の上、実施有無を判断とする。(任意)

なお、行う場合は5分間/チームとし、後攻チームから行う。(試合開始時間が遅れない前提とする)

10 ファウルボールについて

- (1) 1塁側の打球は1塁側のチームが拾う。
- (2) 3塁側の打球は3塁側のチームが拾う。
- (3) 捕手後方への打球は攻撃側のチームが拾う。

11 抗議について

抗議はルールに関する確認は認めるが、ジャッジに関しては一切認めない。

12 試合球について

試合球はマルエスJ球を使用する。試合ごとに各チーム2球ずつ提供する。

13 試合結果の報告について

各試合の結果は、長久手少年野球クラブグラウンド担当が連絡する。

連絡先 加藤 090-1740-1104

鈴木 090-7692-7481

14 開会式について

無(行いません)

15 閉会式(表彰式)について

優勝、準優勝チームのみで決勝戦終了後に行います。

3位チームは、賞状・メダルあり。準決勝終了後、本部(Aグラウンドバックネット裏)までお越しください

15 その他

- (1) 子供達の技術練磨も大切であるが、少年野球本来の目的をもって試合中の罵声及び悪口は慎み相手の好プレーに拍手ができるよう指導すること。
- (2) 救急医療処置は各チームに於いて行い、主催者及び運営委員は事故による責任を一切負わない。
- (3) 各チームは、スポーツ安全協会の保険に加入すること。
- (4) 公認野球規則並びに全日本軟式野球連盟特別規則を適用する。
- (5) 駐車場は有料(1台1,000円) ※詳細は、愛・地球博記念公園(モリコロパーク)HPを参照